

【2016/6/29 経済学部ワークショップの様相】

《日台国際交流の多面的研究ワークショップ 第1回》

若者からみた素顔の台湾：台湾人留学生の視点から

「日台国際交流の多面的研究—経済・文化・歴史からのアプローチ—」の第1回ワークショップとして、「若者からみた素顔の台湾：台湾人留学生の視点から」を開催した。



本ワークショップは、日本と台湾の国際交流を、経済・文化・歴史といった多様な側面から探ること、および本学学生の台湾への理解を深めることを目的としている。今回は初回として、台湾への基本的理解を促進することを意図して開催した。企画段階で、現代の台湾人のバックグラウンドについて理解できるような内容を盛り込むこと、本学学生にも関心を持ってもらえるものとする意識をした。そこで

本学の台湾人留学生をゲストスピーカーとして招聘し、台湾の基本的な概要を紹介した後、台湾はどのような人々で構成されるのか、どのような高校・大学生活を経て社会人となるのか、社会や歴史において何を学んできたのか、現代の若者はどのようなことを考えているのか、台湾のどのようなところに誇りをもっているのかといった点について、若者の視点から率直に語ってもらうこととした。

テーマとスピーカーは下記のとおりである。

台湾概論 呂惠真氏

台湾の歴史 葉信慧氏

台湾の少数民族 呂浩漢氏

台湾の高校と大学生活 林敬瑄氏

台湾の年中行事 鄧丕浩氏

台湾の名所 呂惠真氏



呂惠真氏は、地理・社会・政治をはじめ、日本との関係に重点をおきつつ台湾を概観した。葉信慧氏は台湾の歴史について、特に日本との関係もふまえながら報告した。呂浩漢氏は台湾を構成する人々を紹介した後、その中で対象的な文化を持つ2つの少数民族に焦点をあてて報告した。林敬瑄氏は台湾人がどのような教育制度のもとで社会人となっていくかについて語った。最後に、再度呂惠真氏が登場し、台湾人として日本人学生に伝えたいメッセージ、勧めたいスポットを紹介した。



当日の参加者は50名以上と予想を超え、会場の席が埋まった。特筆すべき点は、質疑応答が活発におこなわれたことである。当日は国内学生に加え、留学生も参加しており、質疑応答も多様なものとなった。若者らしい率直な質問も多くみうけられ、日台の若い世代の交流という意味でも一定の成果をあげたと考えている。参加した本学教員にとっても

多くの学びがあり、新鮮な視点を得られ、今後ワークショップを発展させる上で有意義なものとなった。（弘中史子）